

和歌山市 公共下水道事業
経営戦略 概要版



2019年3月
和歌山市企業局

目次

第1章	経営戦略の概要	1
第2章	下水道事業の現状と課題	2
第3章	下水道事業の効率化・健全化への取り組み	4
第4章	投資計画	6
第5章	財政計画	7
第6章	下水道使用料の見直し	8
第7章	計画の点検と進捗管理	9

1 経営戦略策定の経緯

➤社会基盤である下水道は生活環境の改善、浸水の防除、公共用水域の水質保全等の基本的な役割に加えて、災害時においても持続可能なサービスを提供しなければなりません。

➤本市公共下水道事業においては、未普及対策、浸水地域への雨水整備、下水道施設の老朽化対策など、事業が山積みになっています。

➤さらに、節水意識の向上や人口減等の社会的な状況の変化により使用料収入は伸び悩んでおり、今後も本市の下水道経営にとって厳しい状況が続くことが想定されます。

➤総務省から各公営企業に対し、将来にわたって安定的に事業を継続していくための中長期的な基本計画である「経営戦略」を平成32年度までに策定するよう要請がありました。



経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に取り組むため、中・長期的な経営の基本計画である「和歌山市公共下水道事業経営戦略」を策定しました。

2 計画期間

2019年度～2028年度（10年間）

1 下水道施設の状況

(1) 下水道施設の整備状況

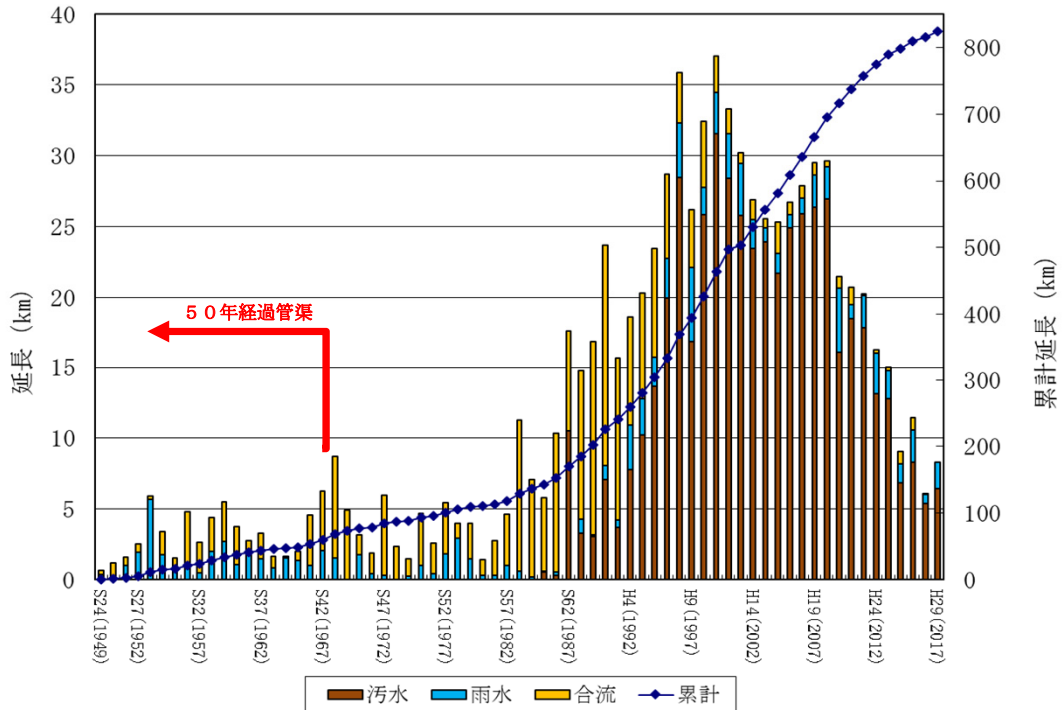
下水道施設の整備状況

		全処理区	中央処理区	和歌川処理区	北部処理区
整備状況	整備面積	2556.4ha	1613.7ha	409.0ha	533.8ha
	供用面積	2360.8ha	1530.0ha	383.0ha	447.8ha
	供用人口	146,649人	92,343人	21,211人	33,095人
	処理能力	148,450m ³ /日	80,400m ³ /日	50,500m ³ /日	17,550m ³ /日
	整備延長	824.0km	551.6km	104.9km	167.5km

➤ 供用面積は2360.8ha、管渠整備延長は824.0km、供用人口は146,649人となっています。(平成29年度末時点)

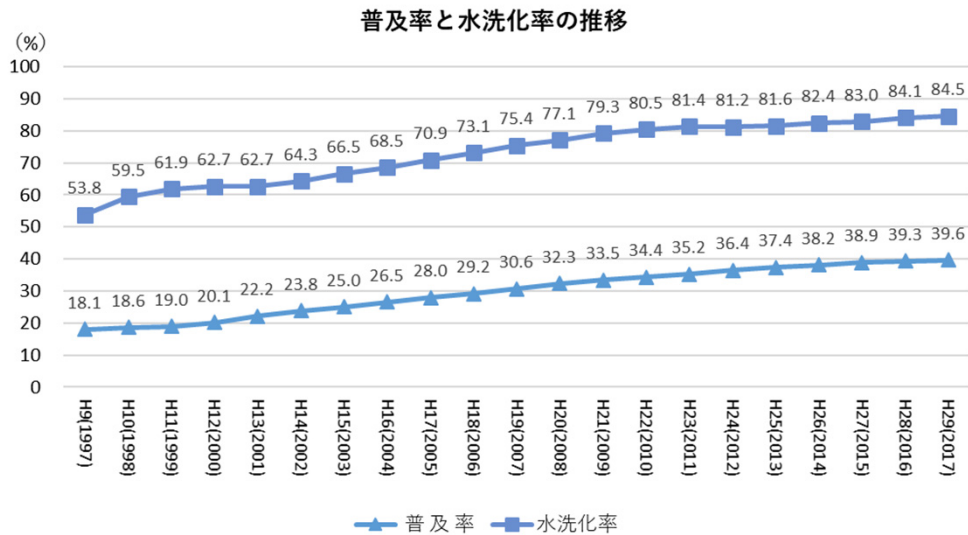
(2) 下水道施設の老朽化状況

管渠整備延長



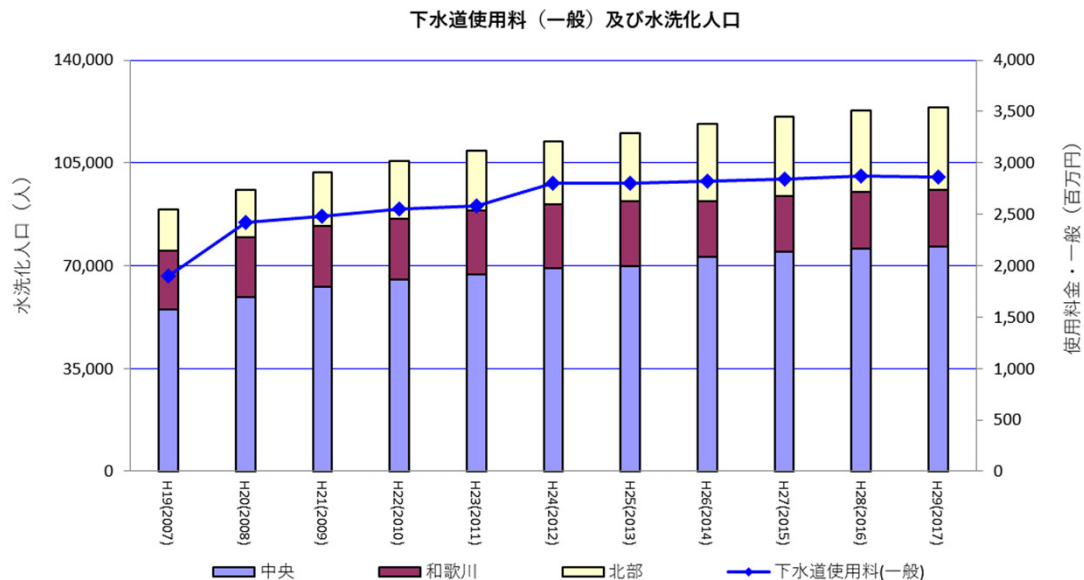
➤ 初期に整備された約60kmの管渠が整備後50年を経過するなど、耐用年数を迎える下水道施設の更新等を順次行う必要があります。

2 下水道の使用状況



➤平成29年度末の普及率は39.6%、水洗化率は84.5%と他都市に比べ低い値となっています。

3 経営の状況



➤下水道使用料は平成19年度、平成24年度の使用料値上げや、水洗化人口の増加により年々増加していましたが、節水意識の高まり等により近年は横ばい傾向が続いています。

1 取り組みの概要

基本施策	具体的施策
1 経営基盤強化にかかる取り組み	(1)人員配置の適正化
	(2)技術力の向上
	(3)民間活力の利用促進
	(4)下水道使用料以外の財源確保
	(5)企業債の抑制
	(6)資産の有効活用
	(7)下水道使用料の見直しの検討
	(8)下水汚泥の有効利用
	(9)情報通信技術の活用
	(10)広報広聴活動の充実
2 投資の合理化にかかる取り組み	(1)広域化・共同化・最適化の検討
	(2)投資の平準化
	(3)民間活力の活用
3 防災・安全対策にかかる取り組み	災害対策の強化

2 経営基盤強化にかかる取り組み

(1) 人員配置の適正化

➤平成30年度の地方公営企業法の適用に伴う水道局との組織統合による事務の効率化等を図り、適正な人員配置を行い合理的な組織体制の整備を図っていきます。

(2) 企業債の抑制

➤企業債の新規発行額を一定の範囲内に抑制するとともに、公的資金補償金免除繰上償還制度の活用により利息負担を軽減するなど、後年度の負担軽減を図ってきましたが、今後も企業債残高が適正な水準となるよう努めていきます。

3 投資の合理化にかかる取り組み

(1) 広域化・共同化・最適化の検討

➤汚水処理適正化構想に基づき、合併処理浄化槽や集落排水施設等他の汚水処理施設整備と連携を図りながら効率的・効果的な整備手法を検討し、事業を進めます。

➤中央終末処理場と和歌川終末処理場の統廃合を検討します。

(2) 投資の平準化

➤実耐用年数を踏まえた改築・更新の必要性の高い管渠・施設の改築・更新の検討を行います。

4 防災・安全対策にかかる取り組み

(1) 下水道施設の耐震化の推進

➤下水道総合地震対策計画を策定し、順次耐震化を進めています。

(2) 和歌山市下水道BCPの策定

➤和歌山市下水道BCPを策定し、防災体制の強化に取り組んでいます。

1 今後 10 年間の投資額

建設投資額総額の推移

(千円)

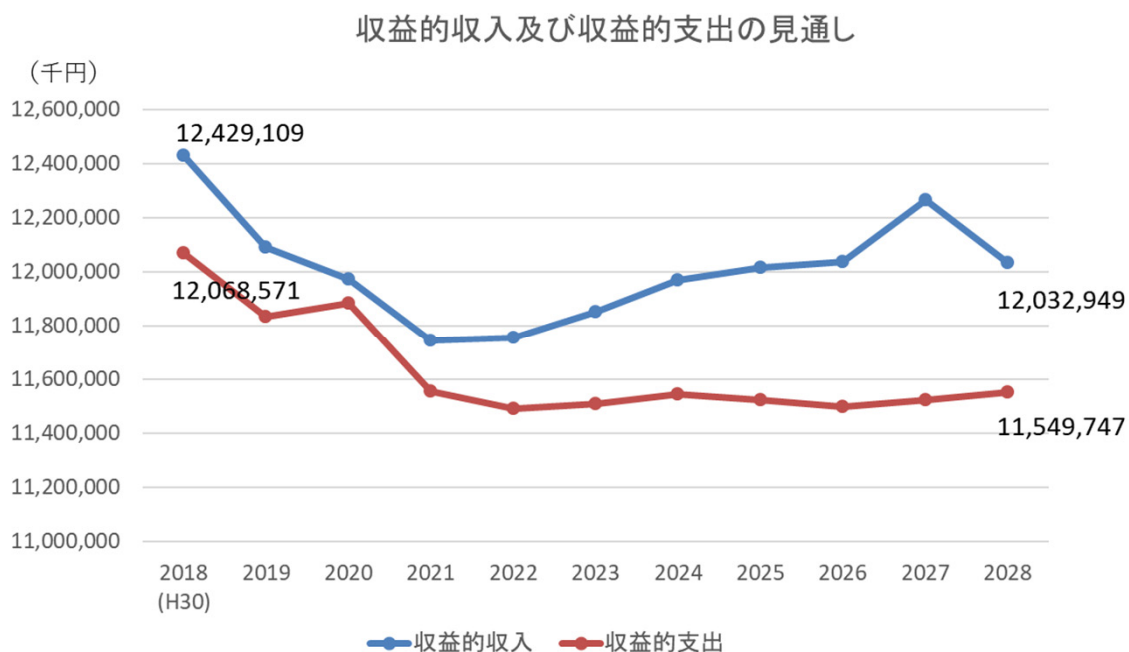
年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
汚水面整備工事費	1,400,000	1,400,000	1,400,000	1,400,000	1,400,000	1,400,000	1,400,000	1,400,000	1,225,000	1,225,000
他事業費（污水）	1,439,747	1,439,747	1,439,747	1,439,747	1,439,747	1,439,747	1,439,747	1,439,747	1,407,257	1,407,257
雨水整備費	2,140,000	2,140,000	2,140,000	2,140,000	2,140,000	2,140,000	2,140,000	2,140,000	2,140,000	2,140,000
合計	4,979,746	4,979,746	4,979,746	4,979,746	4,979,746	4,979,746	4,979,746	4,979,746	4,772,257	4,772,257
合計 (消費税増税分調整後)	5,216,877	5,216,877	5,216,877	5,216,877	5,216,877	5,216,877	5,216,877	5,216,877	4,999,508	4,999,508

➤汚水の面整備については年間約 1 2 億円から 1 4 億円の整備費を見込み、投資コストの縮減や水洗化率の向上が図れるよう、整備効率がよく接続率が高く見込める人口密度の高い地区を優先して整備します。

➤雨水整備については、時間雨量 5 0 ミリに対応した浸水対策を行います。

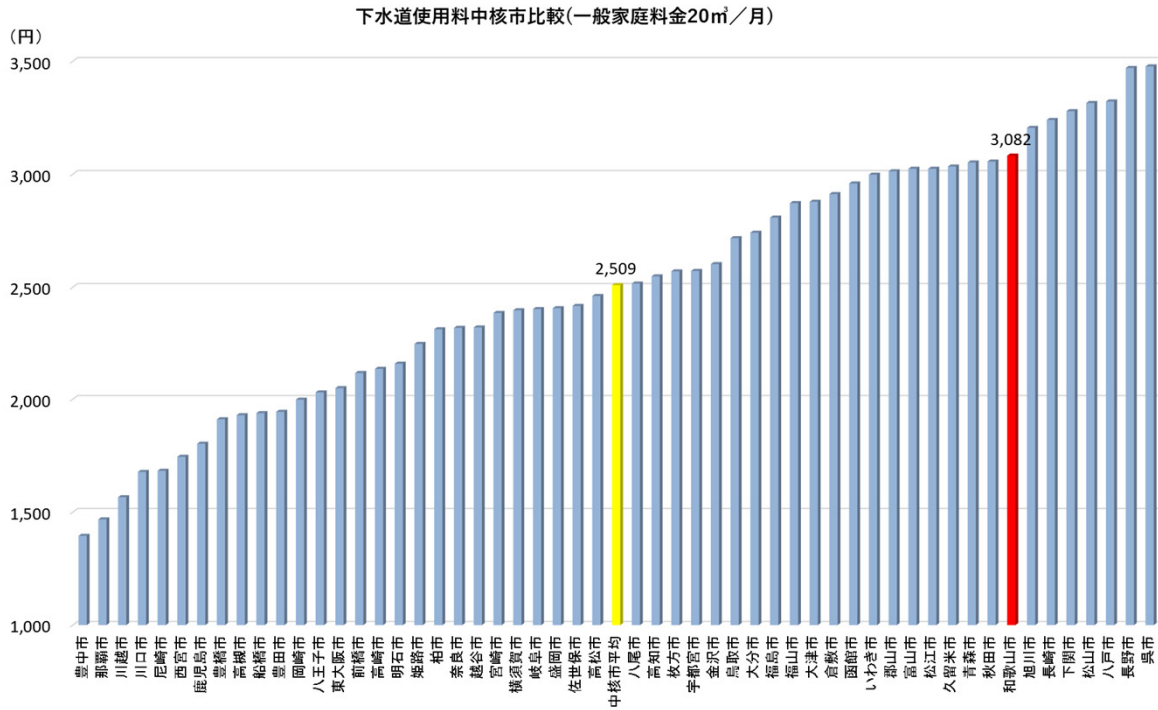
➤未普及対策に加え、改築・更新工事や、老朽化対策で建設改良費の増加が見込まれますが、各年度での事業の進捗状況等を踏まえながら投資の平準化を図り、10 年間の建設投資額の総額を約 5 1 7 億円と見込んでいます。

1 財政状況の見通し



- 収益的収支については計画期間中、黒字で推移する見込みとなっています。
- 当年度純利益については資本的収支不足額の補填財源として使われます。
- 地方財政法上の資金不足額は、年2億円程度の減少を見込んでいますが、計画最終年度においても残ることとなります。

1 中核市における下水道使用料の比較



➤中核市における下水道使用料（一般家庭料金20m³/月）を比較すると、54市中、上から8番目の金額となっています。

2 下水道使用料の見直し

➤「下水道使用料算定の基本的考え方」において、資産維持費が使用料対象経費として位置付けられたことから、将来的な改築需要の増大を踏まえた使用料体系の検討を行う必要があります。

➤将来にわたって安定的に事業を継続していくためには、他会計からの繰入金に依存せず、可能な限り使用料収入によって汚水処理にかかる費用を回収する必要があります。



➤投資の合理化や経営基盤強化の取り組みを推進し、その財源確保に努めていきますが、不足が見込まれる場合には下水道使用料の見直しの検討を行います。

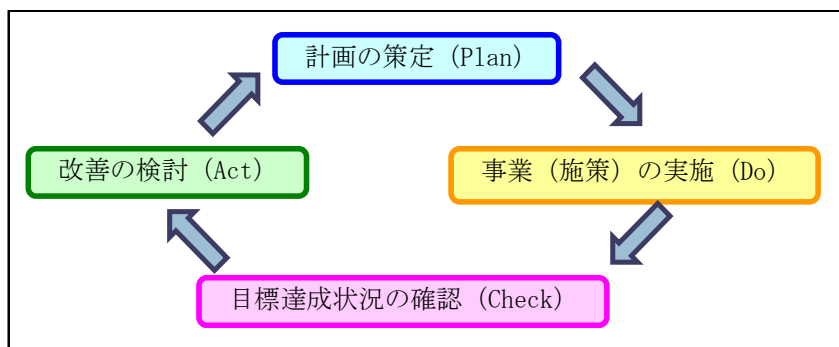
1 経営戦略における目標指標

	指標	意味	和歌山市			2017年度 (H29) 類似団体 平均
			2016年度 (H28)	前期目標 2023年度	後期目標 2028年度	
1	企業債残高対事業規模比率 (%)	債務の重さ	1246.95	1021.53	991.05	805.14
2	経費回収率 (%)	経営の効率性	91.53	100.00	100.00	100.22
3	汚水処理原価 (円/㎡)	経営の効率性	213.67	191.20	190.72	144.79
4	施設利用率 (%)	施設の活用度	47.17	48.93	50.40	61.54
5	水洗化率 (%)	下水道への接続状況	84.07	89.77	94.13	94.13

2 計画の推進と点検・進捗管理の方法

➤経営戦略の各施策を着実に実施するため、PDCAサイクルを活用します。

➤適切に進捗管理を行うとともに、3～5年ごとを目途に必要な応じて見直しを行います。



- 和歌山市公共下水道事業は、平成30年4月から地方公営企業法を適用したことに伴い、平成29年度は打切決算となっています。今後、法適用後の決算状況等を見極めながら、経営戦略の改定を行う予定です。

和歌山市 公共下水道事業 経営戦略 概要版

発行 2019年3月

和歌山市企業局 下水道部 下水道企画課

〒640-8511 和歌山市七番丁23番地

TEL : 073-435-1093

FAX : 073-435-1276

e-mail : gesuikikaku@city.wakayama.lg.jp

HP : <http://www.city.wakayama.wakayama.jp/>